

# 第1回 土岐高山城跡の森 利活用計画策定会議 レポート

土岐津町まちづくり協議会

平成29年1月15日

高山区民会館

土岐市土岐津町では地域の歴史遺産の継承、自然環境の保全を目的としたまちづくり活動を推進しています。「歴史的観光資源を活かした森づくり」「子どもたちを育む森づくり」をコンセプトとした岐阜県環境保全モデル林「土岐高山城跡の森」整備事業が完了し、土岐市に移管されたことに伴ってこの森の利活用計画の策定が急務の地域課題となっています。本会議は平成29年度～31年度にかけての環境保全モデル林「土岐高山城跡の森」の利活用計画（3ヶ年）を策定するために実施しました。

今回行われた第1回目会議では、事務局の基調報告と伊藤栄一先生の講演を軸に、参加者から自由な意見やプランを出していただくことを目的としました。提案されたアイデアは次回の会議（2月12日）までに事務局が集約し、基本計画案を立案します。

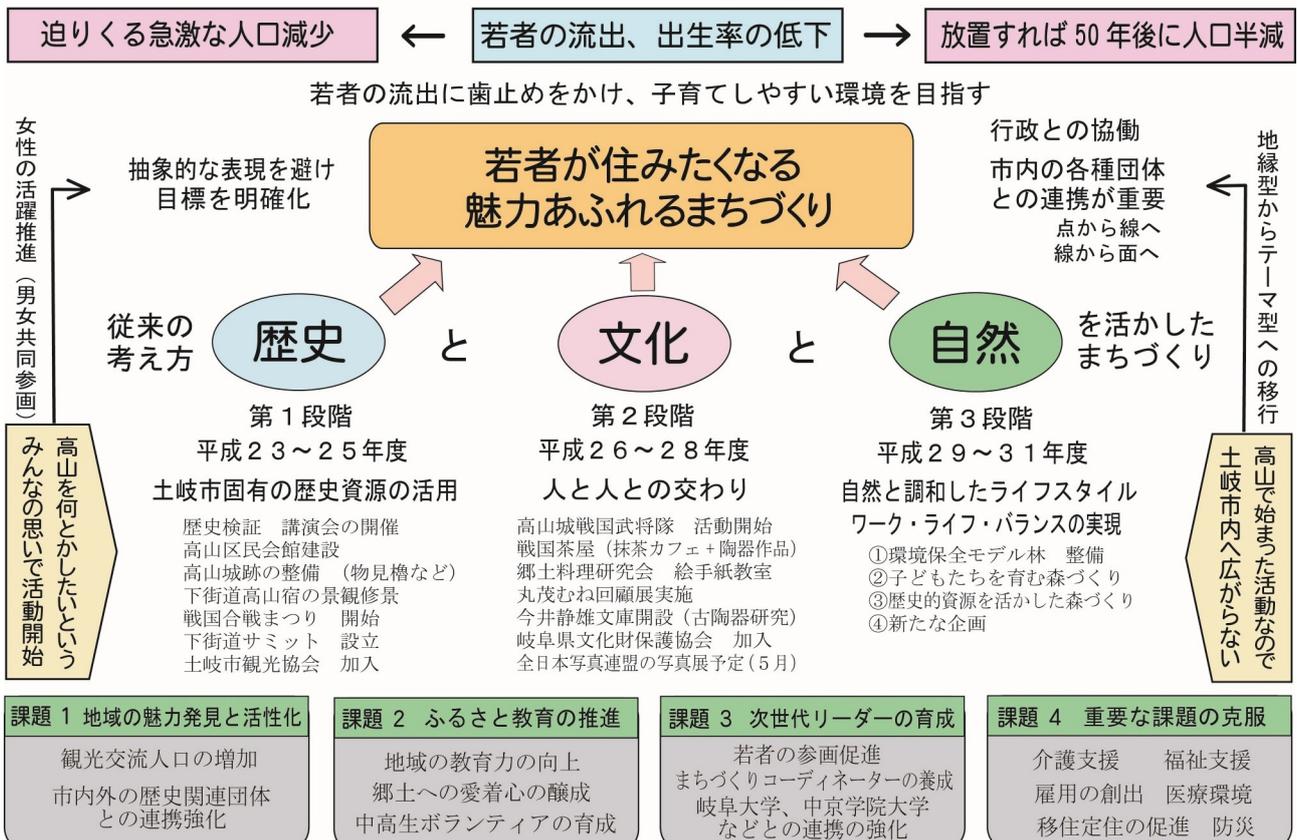
## 1. 基調報告

事務局より高山地区におけるこれまでのまちづくりの経緯について報告があり、今後は、迫りくる急激な人口減少に備え、若者の流出に歯止めをかけ子育てしやすい環境づくりを目指す必要があることが報告されました。さらに「若者が住みたくなる魅力あふれるまちづくり」をこれからのコンセプトとしていきたいとの提案がありました。

高山城高山宿史跡保存会 / 土岐津町まちづくり協議会

第3次 まちづくり計画基本構想（平成29年～31年）

平成29年1月15日



## 2. 講演 森のなりわい研究所 所長 伊藤栄一 先生

伊藤栄一先生には「里山林のあるべき姿と利活用について」をテーマに講演を行っていただきました。

(講演要旨) 「過去における里山は生活に密着しており、薪を採取し自然の恵みを享受していた。しかし生活様式が変わり里山へ人が行くことがなくなった今日では、里山の利活用の自由度が高まっている。この森はJRの駅や市街地に隣接しており、自然と調和したライフスタイルを実現するために自由なアイデアを出していただきたい」

(写真右 伊藤栄一先生)



【森のなりわい研究所とは・・・】

森のなりわい研究所は、森を活かし、森に育まれる「くらし・地域づくり」を目標にして、調査・研究、森林環境学習、森に親しむための機会づくり、森の空間利用・資源利用を通じた地域づくり、緑の景観デザイン、森づくり活動支援事業、ワークショップ運営支援事業等を実施されています。

## 3. ワークショップ (KJ法)

参加者のほとんどはKJ法によるワークショップの経験がありませんでしたが、日頃から一緒に活動している仲間だけに、次第に打ち解け和気あいあいの中作業が進みました。特に学生を含む20代の若者5名が意欲的に取り組んでくれたことは今後の展開に向けて明るい兆しとなりました。





A班



B班

ワークショップでは五つの班に分かれ、助言者の皆さんにも加わっていただいて

- ①森の整備の方法と内容
- ②子どもたちへの働きかけ
- ③歴史資源を活かした森づくり
- ④夢

の各項目について活発な話し合いを行い、提案をまとめました。



C班



D班



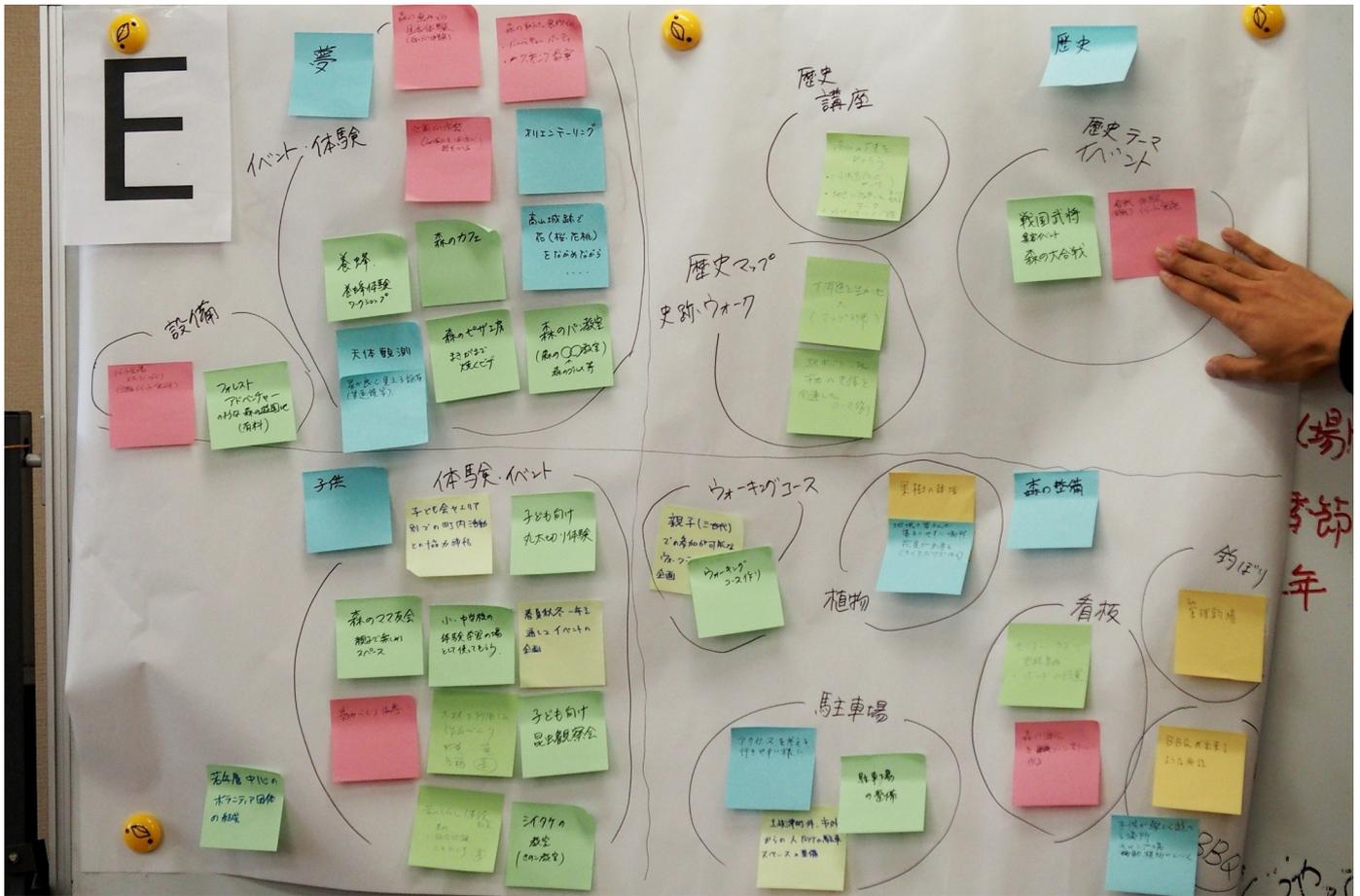
E班

各班の発表では女性や若者が活躍しました









#### 4. 参加人数・参加団体

男性	30名 (内20代 5名)	高山城高山宿史跡保存会	高山城戦国武将隊
女性	3名	土岐里山の会	高山区自治会
		土岐津町青少年育成会	土岐市観光ガイドの会

#### 5. 講師・助言者の皆さん



岐阜県東濃農林事務所  
課長補佐 今井和重 さん



土岐市まちづくり推進課  
課長補佐 熊崎直美 さん



森のなりわい研究所  
所長 伊藤栄一 先生

岐阜大学地域協学センター  
地域コーディネーター



岐阜県環境生活政策課  
課長補佐 堀 秀子 さん



岐阜県森林づくりサポート  
センター 瀬古裕美子 さん